

令和7年8月27日

各報道機関文教担当記者 様

今年度創設した「防災・復興人材特別プログラム」 防災士受験資格が得られる科目を初開講

このたび、令和7年4月に創設した「防災・復興人材特別プログラム」の主要科目として、新たに「防災・復興学入門A・B」を開講します。

この科目の特徴は、「防災」だけではなく「復旧・復興」の知識も有する防災士を育成することです。単位を修得することで「防災士（日本防災士機構認定資格）」の受験資格を得ることができます。

つきましては、下記の日程で講義を報道公開します。当日の取材・報道をよろしくお願ひします。

○防災・復興人材特別プログラム

令和6年1月の能登半島地震を受け、専門知識を活かして被災地支援や自治体との連携を図れる人材の育成が急務となりました。本学では、災害、復旧・復興、防災・減災に関する科学的知見の学修により身につけた科学的、倫理的及び実証的な力をもって、地域の復旧・復興に貢献できる高度人材と社会の防災・減災に貢献できる人材の育成を目指し、令和7年4月に本教育プログラムを立ち上げました。

○講義内容

本科目では、自然災害への理解を深め、防災・復興に必要な知識とスキルを多角的に学び、将来、防災士として地域で活躍するための基礎力を養います。実践的なグループワークや専門家によるゲスト講義も実施します。

開講期間：令和7年8月30日（土）～9月2日（火）

対象：全学生（学士課程の学生だけでなく、大学院学生も履修可能）

※「防災・復興学入門A」については、高校生も科目等履修生として履修可能。単位修得によりKUGS特別入試の出願資格が付与される。

担当教員：金沢大学理工研究域地球社会基盤学系、人間社会研究域地域創造学系教員ほか

取材対応日時：令和7年9月2日（火）8時45分～12時00分

場 所：金沢大学自然科学大講義棟1階 大講義室A

内 容：普通救命講習（傷病者の観察の仕方、一次救命処置（心肺蘇生、AEDを用いた電気ショック、気道異物除去）等、救急法の基礎について、実技を交えて習得する講習です）

【本件照会先】

金沢大学学務部学務課 川合礼子

TEL：076-264-5154

E-Mail：bousaifukko@adm.kanazawa-u.ac.jp

令和7年度から

復旧・復興と防災・減災に貢献できる人材を育成

防災・復興人材 特別プログラム を新設しました！

学士課程及び修士・博士前期課程の正課教育として実施し、
所定の要件充足者に修了証を交付します。

詳細は「防災・復興人材特別プログラムWebサイト」からご確認ください。

プログラムの目的

災害、復旧・復興、防災・減災に関する科学的知見の学修により身につけた科学的、倫理的及び実証的な力をもって、被災地の復旧・復興に貢献し、広く我が国や世界の防災・減災に活躍できる高度人材の育成を目指しています。

地域の復旧・復興に 貢献できる高度人材

復旧・復興に資するプログラムの学修により、被災地に寄り添い、学修した知見を活用することができる。

育成する 人材像

社会の防災・減災に 貢献できる人材

我が国を始めとする世界の自然災害や、防災・減災分野において、探求心に富み、これらの分野の専門知識を活かすことができる。

学士課程プログラムの内容

必修

「防災・復興学入門A」「防災・復興学入門B」
各1単位 計2単位

または修得済みの「防災学入門」2単位

+

必修又は選択必修

防災・復興に関する
共通教育科目、専門教育科目

= 10
単位程度

「防災・復興学入門A」及び「防災・復興学入門B」を開講！

単位修得により、
防災士（日本防災士機構認定資格）の受験資格が得られます。

防災士として活動することを見据え、その際に必要となる基礎的な知識やスキルを
学内教員及び実務者からの講義や演習を通じて身につけることができます。
学士課程の学生だけでなく、修士・博士前期課程の大学院学生も履修できます。

阪神・淡路大震災の
教訓から防災士は
誕生しました。

災害からの被害を
最小限にとどめる、
地域防災力の担い手が
「防災士」です。

プログラム開設学域・学類・研究科

学域・学類毎のプログラムは「KUGS 特別入試 防災・復興人材選抜」による入学者の履修を優先しますが、全学学士課程学生が履修・修了可能なプログラムもあります。修士・博士前期課程のプログラムの授業科目は全研究科・大学院学生も履修可能ですが、プログラムを修了できるのは、プログラム開設研究科修士・博士前期課程学生のみです。（裏面参照）

学士課程

- ▶ 全学横断プログラム
- ▶ 融合学域 観光デザイン学類
- ▶ 人間社会学域 学校教育学類 共同教員養成課程
- ▶ 人間社会学域 地域創造学類
- ▶ 理工学域 地球社会基盤学類
- ▶ 医薬保健学域 4学類共通

修士・ 博士前期課程

修了要件：4単位以上修得

- ▶ 新学術創成研究科
- ▶ 人間社会環境研究科
- ▶ 自然科学研究科
- ▶ 医薬保健学総合研究科

詳細情報はこちらから

金沢大学
防災・復興人材特別プログラム
Webサイトはこちら



Webシラバスは
こちら



履修・修了可能学域・学類 及び 研究科・専攻

学域・研究科		学類・専攻	防災・復興人材特別プログラム開設学域等										
			観光デザイン学類	学校教育学類	地域創造学類	地球社会基盤学類	医薬保健学域	全学横断プログラム 学士課程	新学術創成研究科	人間社会環境研究科	自然科学研究科	医薬保健学総合研究科	
融合学域		先導学類	●	—	—	—	—	●	—	—	—	—	
		観光デザイン学類	●	—	—	—	—	●	—	—	—	—	
		スマート創成科学類	●	—	—	—	—	●	—	—	—	—	
人間社会学域		人文学類	—	●	●	—	—	●	—	—	—	—	
		法学類	—	●	●	—	—	●	—	—	—	—	
		経済学類	—	●	●	—	—	●	—	—	—	—	
		学校教育学類 共同教員養成課程	—	●	●	—	—	●	—	—	—	—	
		地域創造学類	—	—	●	—	—	●	—	—	—	—	
		国際学類	—	●	●	—	—	●	—	—	—	—	
理工学域		数物科学類	—	●	—	—	—	●	—	—	—	—	
		物質化学類	—	●	—	—	—	●	—	—	—	—	
		機械工学類	—	●	—	—	—	●	—	—	—	—	
		フロンティア工学類	—	●	—	—	—	●	—	—	—	—	
		電子情報通信学類	—	●	—	—	—	●	—	—	—	—	
		地球社会基盤学類	—	●	—	●	—	●	—	—	—	—	
		生命理工学類	—	●	—	—	—	●	—	—	—	—	
医薬保健学域		医学類	—	—	—	—	●	●	—	—	—	—	
		薬学類	—	—	—	—	●	●	—	—	—	—	
		医薬科学類	—	—	—	—	●	●	—	—	—	—	
		保健学類	—	—	—	—	●	●	—	—	—	—	
新学術 創成研究科	修士課程	総合知創出科学専攻	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—	
	博士 前期課程	融合科学共同専攻	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—	
		ナノ生命科学専攻	—	—	—	—	—	—	—	●	—	—	
人間社会環境研究科 (博士前期課程)		人文学専攻	—	—	—	—	—	—	—	●	—	—	
		経済学専攻	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—	—
		地域創造学専攻	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—	—
		国際学専攻	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—	—
自然科学研究科 (博士前期課程)		数物科学専攻	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—	
		物質化学専攻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—
		機械科学専攻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—
		フロンティア工学専攻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—
		電子情報通信学専攻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—
		地球社会基盤学専攻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—
		生命理工学専攻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—
医薬保健学 総合研究科	修士課程	医科学専攻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	
	博士 前期課程	創薬科学専攻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	
		保健学専攻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	

※法学研究科（修士課程）法学・政治学専攻、博士・博士後期課程及び専門職学位課程の学生が履修・修了可能な防災・復興人材特別プログラムはありません。

※●印は、該当の学類又は専攻の学生が履修・修了可能なプログラムです。

※学校教育学類のプログラムは幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校のうち、1つ以上の教員免許状を取得する予定の者が履修・修了できます。

Syllabus

■ 科目名[英文名]	防災・復興学入門A[Introduction to Disaster Prevention and Reconstruction A]		
■ 担当教員[ローマ字表記]	由比 政年[YUHI, Masatoshi], 平松 良浩[HIRAMATSU, Yoshihiro], 村田 晶[MURATA, Akira], 小林 俊一[KOBAYASHI, Shunichi], 谷口 健司[TANIGUCHI, Kenji], 森山 治[MORIYAMA, Osamu], 積田 典泰[TSUMITA, Noriyasu]		
■ 科目ナンバー	----	科目ナンバリングとは	
■ 時間割番号	77656.1	■ 科目区分	----
■ 講義形態	----	■ 開講学域等	共通教育
■ 適正人数	100人	■ 開講学期	Q2
■ 曜日・時限	集中	■ 単位数	1単位
■ 授業形態		■ 60単位上限	
■ 対象学生	全学生(「防災・復興学入門B」とセットで履修すること)		
■ キーワード	防災 自然災害 防災士 避難行動 災害ボランティア		
■ 講義室情報	自然科学大講義棟(総合研究棟VI) 大講義室A(対面のみ)		
■ 開放科目	----		
■ 備考	実務経験のある教員による授業科目		

■ 授業の主題

自然災害が頻発する地域・世界の防災・減災および復旧・復興に関する科学的知見に基づき、的確な判断により社会をリードするための素地養成を目的とする。まず、多様な自然災害のメカニズムや対応策・課題を地球科学、社会基盤学の観点から総合的に理解することで、自然災害に対する問題意識を喚起する。合わせて、被災地諸機関と協働して復旧・復興を推進するために必要な基礎知識を地域創造学、教育学、観光学、保健学等の多角的視点から学修する。さらに、防災士として将来地域社会で活動することを見据え、その際に必要となる基礎的な知識やスキルを実務者からの講義や演習を通じて身につける。

■ 学修目標(到達目標)

多様な自然災害のメカニズムや対応策・課題を地球科学、社会基盤学の観点から総合的に理解することで、自然災害に対する問題意識を喚起する。合わせて、被災地諸機関と協働して復旧・復興を推進するために必要な基礎知識を地域創造学や観光学等の多角的視点から学修する。

■ 授業概要

特になし

■ 講義スケジュール

講義回	テーマ	具体的な内容	担当教員
1	地震の起こり方・想定とその防災・減災	地震が発生するメカニズム、地震の想定や防災・減災対策、災害関連情報とその活用等について概説する。	平松 良浩[HIRAMATSU, Yoshihiro](理工研究域 地球社会基盤学系)
2	火山災害の特徴とその対策	火山活動のメカニズムや被災例、対策例、災害関連情報とその活用等について概説する。	平松 良浩[HIRAMATSU, Yoshihiro](理工研究域 地球社会基盤学系)
3	地震動による建物被害の特徴とその対策	地震動による建物被害のメカニズムや被災例、対策例、災害関連情報とその活用等について概説する。	村田 晶[MURATA, Akira](理工研究域 地球社会基盤学系)
4	土砂災害・地盤災害の特徴とその対策	地滑り、液状化のメカニズムや被災例、対策例、災害関連情報とその活用等について概説する。	小林 俊一[KOBAYASHI, Shunichi](理工研究域 地球社会基盤学系)
5	気象災害の特徴とその対策	台風、爆弾低気圧、豪雨のメカニズムや被災例、対策例、災害関連情報とその活用等などについて概説する。	外部講師(金沢地方気象台)
6	河川災害の特徴とその対策	洪水氾濫のメカニズムや被災例、対策例、災害関連情報とその活用等について概説する。	谷口 健司[TANIGUCHI, Kenji](理工研究域 地球社会基盤学系)
7	沿岸域災害の特徴とその対策	津波、高潮、高波のメカニズムや被災例、対策例、災害関連情報とその活用等について概説する。	由比 政年[YUHI, Masatoshi](理工研究域 地球社会基盤学系)
8	防災と観光	災害等の発災時における交通部門・観光部門の緊急対応について概説する。	積田 典泰[TSUMITA, Noriyasu](融合研究域 融合科学系)
9	防災・復興とダイバーシティ	防災・復興におけるタイパーシティ配慮について概説する。	森山 治[MORIYAMA, Osamu](人間社会研究域 地域創造学系)

Syllabus

■ 科目名[英文名]	防災・復興学入門B[Introduction to Disaster Prevention and Reconstruction B]		
■ 担当教員[ローマ字表記]	由比 政年[YUHI, Masatoshi], 土屋 明広[TSUCHIYA, Akihiro], 田中 浩二[TANAKA, Koji]		
■ 科目ナンバー	-----		科目ナンバリングとは
■ 時間割番号	77657.1	■ 科目区分	-----
■ 講義形態	-----	■ 開講学域等	共通教育
■ 適正人数	100人	■ 開講学期	Q2
■ 曜日・時限	集中	■ 単位数	1単位
■ 授業形態		■ 60単位上限	
■ 対象学生	全学生(「防災・復興学入門A」とセットで履修すること)		
■ キーワード	防災 自然災害 防災士 避難行動 災害ボランティア		
■ 講義室情報	自然科学大講義棟(総合研究棟VI) 大講義室A(対面のみ)		
■ 開放科目	-----		
■ 備考	実務経験のある教員による授業科目		

■ 授業の主題

自然災害が頻発する地域・世界の防災・減災および復旧・復興に関する科学的知見に基づき、的確な判断により社会をリードするための素地養成を目的とする。まず、多様な自然災害のメカニズムや対応策・課題を地球科学、社会基盤学の観点から総合的に理解することで、自然災害に対する問題意識を喚起する。合わせて、被災地諸機関と協働して復旧・復興を推進するために必要な基礎知識を地域創造学、教育学、観光学、保健学等の多角的視点から学修する。さらに、防災士として将来地域社会で活動することを見据え、その際に必要となる基礎的な知識やスキルを実務者からの講義や演習を通じて身につける。

■ 学修目標(到達目標)

学校における安全管理・安全教育、災害に伴う医療・福祉・保健事業支援等について対応策や課題など、被災地諸機関と協働して復旧・復興を推進するために必要な基礎知識を教育学、保健学等の観点から学修する。さらに、防災士として将来地域社会で活動することを見据え、その際に必要となる基礎的な知識やスキルを実務者からの講義や演習を通じて身につける。

■ 授業概要

特になし

■ 講義スケジュール

講義回	テーマ	具体的な内容	担当教員
1	避難所運営机上訓練1	避難所運営方法について理解する。	田中 純一(北陸学院大学)
2	避難所運営机上訓練2	避難所運営の課題について理解する。	田中 純一(北陸学院大学)
3	教育行政・学校における安全管理と事業継続	学校安全の基本的な考え方と災害に備える事業継続計画について概説する。	土屋 明広[TSUCHIYA, Akihiro] (人間社会研究域 学校教育系)
4	自主防災活動・地域防災／災害ボランティア	地域における防災活動について理解する。 災害時のボランティアの活動や役割について理解する。	高野 明美(小松防災士の会)
5	普通救命講習1	応急手当の方法について理解する。	外部講師(日本赤十字社 石川県支部)
6	普通救命講習2	応急手当の方法を実践する。	外部講師(日本赤十字社 石川県支部)
7	災害に伴う医療・福祉・保健事業支援	令和6年能登半島地震などの災害における医療、福祉、保健事業の支援等を紹介する。	田中 浩二[TANAKA, Koji] (医薬保健研究域 保健学系)
8	防災士に期待される活動	災害時および平時における防災士の活動や役割について理解する。	藤田 武則(NPO法人石川県防災士会)